

“めざそう笑顔のまちづくり”

とんぼんまはつと

7月号

令和4年7月1日

発行 NO.182

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 本田恭子

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」



「友達は 一人ひとりが 宝物」

青少年のための大崎市民三本木会議

三本木 7月の予定

※ひま：ひまわり園 支：子育て支援センター 児：児童交流センター
小：三本木小学校 中：三本木中学校 まち協：まちづくり協議会

1	金	ひま：保育参観（3～5）
2	土	
3	日	
4	月	中：朝会
5	火	支：すくすくサロン（0）
6	水	
7	木	まち協役員会 ひま：七夕まつり誕生会 支：なかよし広場（七夕会） 小：6年生修学旅行（～8日）
8	金	中：3年生実力テスト
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	支：すくすくサロン（1）
13	水	ひま：英語であそぼ（4）
14	木	ひま：避難訓練（地震） 支：すくすくサロン（2）
15	金	ひま：芸術鑑賞会（5） 小：学習参観 中：救急救命講習会（2年生）
16	土	
17	日	中：吹奏楽地区大会
18	月	海の日
19	火	支：子育て講座（夏の感染症）
20	水	ひま：ひまわり園まつり 小：お話朝会 中：壮行式・全校集会
21	木	ひま・小・中：夏期休業日（～8/22） 支：おはなし会
22	金	中：県中総体（～25日）
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	中：三者面談（～8/1）
27	水	
28	木	支：のびのび身体測定
29	金	
30	土	
31	日	



三本木まちづくり協議会令和4年度事業について

三本木まちづくり協議会では、令和4年度総会を6月4日（土）ふれあいホールにて開催しました。令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告、令和4年度事業計画、収支決算について承認されました。令和4年度は前年度からの継続事業として「新世紀公園」を多世代交流ができ、様々な遊びの場となり、誰もが集える「居場所づくり」の構築を目指した活動を進めて参ります。住民の皆さま方には、本年度事業につきましてご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

広報さんぼんぎねっとロゴが決定しました

三本木まちづくり協議会広報委員会では、広報さんぼんぎねっとの発行から昨年15周年を迎えたことを期に、新しいロゴデザインを募集しておりました。応募作品は、6月16日（木）に開催した三本木まちづくり協議会の委員会にて委員の投票により鉄炮町行政区の鈴木唯さんの作品を採用させていただくことに決まりました。採用となりましたロゴについては、カラー版新年合併号から使用し、発表とさせていただきます。

三本木公民館からのお知らせ

～学習センター「ミニ講座」のお知らせ～

毎月第4土曜日に、子どもを対象とした2つのミニ講座を開催しています。

現在、三本木学習センターの駐車場が使用できないため、三本木公民館和室で行います。

7月は23日（土）に開催予定です。

①わくわく工作タイム

◆時間 9：30～10：30

◆申込 事前申込必要（三本木公民館まで）

②おはなしの森

◆時間 10：30～11：30

◆申込 申込不要（直接来館下さい）

※新型コロナウイルスの状況により中止する場合があります。

申込・お問合せ 三本木公民館 ☎ 52 - 5852

まらり★WAKAMONOⅡ 2021-Vol.11

WAKAMONO達が今、何に夢中になっているのでしょうか。三本木出身のWAKAMONO達、「今一生懸命なこと」「夢中になっていること」活動や仕事、趣味、学び、宝ものなどを自由に書いてもらうという企画です。6月号の桑折区出身の大学生、笠原さんからバトンを受け取ったのは、南谷地地区出身の三浦さんです。

みなさんこんにちは！南谷地出身の三浦亜加莉です！今、県内の大学で福祉の勉強をしながら部活動との両立に励んでいます。私がいま夢中になっていることは卓球です。小学4年生から卓球を始め、これまで卓球を通してたくさんの人と交流する機会や周りの環境に支えられ、今も卓球を続けることができています。中学生の時にはスポーツ少年団と部活動の両方で練習に取り組みました。高校生の時は朝5時半に起き、電車で仙台まで通学し夜10時に帰る日々を過ごしました。毎日忙しい日々を送り、嫌になる時もありましたが、今思い返せば充実していたと実感します。そのおかげで、たくさんの成績を残せました。振り返るとたくさんの人に支えられたなと思うことばかりです。

私は今親元を離れて生活しています。

これまでたくさんの人によくしてもらいました。こんなにも安心感のある街であることを仙台に住むようになってから、実感しました。こんなにも温かい人たちが住んでいる三本木が私は大好きです。三本木は人が温かく自然豊かな街だと思います。今年度、成人式を迎えるので地元の友達、先生方に会えることがとても楽しみです。

コロナ禍ではありますが、悪いことだけじゃないと思います。今しかできないことを前向きに考えて乗り越えていきましょう！



中学生時代の三浦さん



高校生時代に出場したミニ国体にて

行政区だより

南谷地行政区では、5月29日（日）、恒例の側溝清掃が行われました。

清掃が広範囲に及びことから、毎年エリアをローテーションしており、今回は西浦エリアの側溝清掃を行いました

コンクリート蓋を持ち上げる工具やスクレーパー、穴開きスコップなど道具も毎年充実させてます。女性も含め41名の参加があり、2時間半の作業成果は土のう袋は250袋！みなさんお疲れさまでした。



土嚢250袋！
こんなに
ありました。



まち協委員 コラム

今年宮城県が県制150周年を迎える記念の年となりました。明治5年に宮城県が誕生してから紆余曲折の市町村合併を経て、現在の35市町村に再編されました。旧三本木町では明治22年に12村が合併して三本木村となり、その後明治28年に町制に移行しました。以後60年余り三本木の地域割りに変化はありませんでしたが、昭和の大合併により下伊場野村の伊場野地区と高倉村の新沼地区の編入があり、新三本木町が誕生しました。平成の大合併では皆さんご存じのように1市6町で合併し、新大崎市が発足することとなったわけです。新市発足に合わせ「まちづくり協議会」もできました。今年度も新たな気持ちでコロナに負けず、まちづくりに取り組んでいきましょう。

トランスイート「四季島」が2年ぶりに鳴子温泉駅に来訪します。11月までに23回来訪する予定です。8月までの運行予定日は6/30・7/4・7/14・7/28・8/25となっています。それぞれ6時17分頃着～9時37分頃発予定となっていますので、まち協でも出迎え・見送り等の歓迎を行いたいと考えています。

コロナの感染状況がまだ見通せない中、各種行事も手探りながら実施の方向での動きが出てきているようです。

三本木夏まつりも開催の方向で準備を進めていると聞いていますし、防災訓練も実施を前提としているようです。コロナの予防接種も4回目の接種に向けて、60歳以上の方や基礎疾患のある方を対象に、6月下旬より案内を送付する準備を進めているとのこと。

参議院議員選挙が7月10日投票日で実施されます。選挙区と比例区合わせて124議席を争う選挙となります。例年言われてきていることですが、年々投票率が低下してきています。先の県議会議員選挙でも低い投票率でした。皆さん投票に行きましょう。

By とみけん



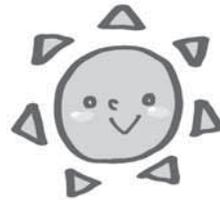
▲2年ぶりにやってきた、クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」旅のコンセプトは「深遊探訪」2017年度グッドデザイン・ベスト100を受賞している。優雅な雰囲気あふれるフォルムを見に出かけてみてはいかがでしょうか。



ひまわり園

3歳児は新世紀公園に、4・5歳児はバスに乗って古川の古代の里へ園外保育に行きました。園庭での外遊びはもちろん楽しいのですが、やっぱり晴天の下園外へ出かけると子どもたちは大喜びではしゃいでいました。

また、日よけのためのグリーンカーテンに、今年もゴーヤとパッションフルーツの苗をテラスに植えました。大きく成長して暑い夏の強い日ざしから、子どもたちを守ってほしいものです。



村上塗装

代表 村上 誠

携帯 080-6045-9913

〒989-6306 大崎市三本木新町二丁目2-7

協賛広告

屋根・外壁の塗装 雨どいの修理 など《見積無料》

地元でがんばる塗装屋です いい仕事しますので! よろしくお願ひします

子育て支援センター

すくすくサロンは「お外で遊ぼう!」、なかよし広場はピクニックで新世紀公園を散歩しました。青空の下での外遊びに子どもたちは楽しそうでした。

おはなし会では栄養士さんのエプロンシアター「アンパンマンとおおきなにんじん」のびのび身体測定ではどの位大きくなったか、ママたちはドキドキのようでした!



児童交流センター

「ただいま!」という元気な声に混じって「ふ〜、暑かった〜」という声も聞かれるようになりました。

1年生も児童センターでの生活に慣れてきた様子で、2年生と一緒に「今日は外遊びあるの?」などと目を輝かせて聞いてきます。3年ぶりに上級生が児童センターでの様々な遊びを紹介する「歓迎会」が開催されました。子どもたちが主体になることで、普段受け身の姿勢の子どもも、積極的に参加して意外な一面を見せていました。また、地域の「将棋の達人」をお招きし、将棋の手ほどきをしていただきました。子どもたちは、職員以外の大人とのふれあいにちょっぴり緊張しながら、将棋の面白さに夢中になっているようでした。



7月のぽっかぽか広場

- ◆日時 7月13(水)10時~
- ◆場所 三本木児童交流センター
- ◆内容 「水遊びをしよう」
アート制作・シャボン玉遊び等
- ◆対象 就学前の子どもと保護者
10組
- ◆申込み 7/11(月)までに児童交流センターまで電話にてお申込みください。
☎52-2078

協賛広告

ひまわり交通(株)

(資)共和タクシー

冠婚葬祭・旅行など各種貸切バス

TEL 0229-52-2324

FAX 0229-52-2325

ジャンボタクシー・福祉タクシー

TEL 0229-52-2121

FAX 0229-52-2240

青い目の人形物語

～戦禍を超えて受け継がれた平和への願い～

本校の校長室には、ガラスケースに入った1体の人形があります。名前はベティ・ジェーン。ブロンドの髪に緑の目、紫色のロングスカートに同色のベストとつば広の帽子を合わせた衣装を着けています。このベティーは、今から95年前の昭和2年（1927年）にアメリカからやってきた12,739体の“青い目の友情人形”の一つです。

今回は、ベティ・ジェーンの物語から時代の大きな流れの中にあっても、平和や友情を希求できる人間の可能性について考えてみたいと思います。

♪青い目をしたお人形は アメリカ生まれのセルロイド♪

野口雨情作詞のこの歌がつけられた頃（大正9年）、わが国の教育界では国際愛が叫ばれ、全てが国境を超えた愛の教育でなければならないといわれていました。一方アメリカでは、中国系の移民が禁止される*などアメリカに暮らすアジア人には様々な制限が加えられ、日本人への排斥活動も盛んに行われていたのです。*中国人排斥法（1882～1943）

日本に長く暮らしたアメリカ人宣教師のグーリック博士は、帰国後にそのような社会情勢を憂い、「人形のつぶらな瞳の中には戦争や憎しみではなく、^{いのち}生命を限りなく愛おしむ平和な心が宿っている。」と考え、「友情の人形」を日本の子供に贈ることを全米に呼び掛けました。すると、260万人というたくさんのアメリカ人が協力を申し出、12,739体の青い目の人形が集まったのです。



昭和2（1927）年 青い目の人形
（友情人形）ベティ・ジェーン
（高さ38.2cm 重さ0.7kg）

昭和2年（1927年）のひなまつりに間に合うように運ばれてきた“青い目の人形”たちは、日本各地の小学校や幼稚園に届けられ、ひなまつりだけでなく、遠足や運動会、歌や劇にも仲間入りしてアメリカと日本の友情を深めていきました。宮城県に届けられた221体のうち8体が今も残っています（H15.8.30時点の確認数）が、そのうちの1体が本校のベティ・ジェーンです。

日本人排斥の嵐の中からやってきた、アメリカからの友情の「印」は、太平洋戦争の勃発によって敵・鬼畜米英への憎しみの「印」に変わり、そのほとんどが政府の命令のもと、竹槍で突かれたり焼き払われたり、海や川に捨てられたりしてしまいました。友情と平和の印は、戦争の憎悪によって葬られてしまったのです。しかし、平成15年時点で313体の青い目の友情人形が残っていたことが分かっています。さて、これは何を意味するのでしょうか。12,739分の313、これは単なる誤差や偶然なのでしょうか。いいえ、私はそうは思いません。この313は、平和を希求する強い意思が表れた数です。戦時下にあっても、友情を大切に思い、平和を願って時代の激流にあらがい続けた日本人がいたという証なのです。

本校に贈られたベティ・ジェーンは、太平洋戦争中に姿を消していましたが、昭和61年に帰ってきました。当時準訓導として勤務していた我妻義正先生が、校長の処分命令に逆らいかまっていたのです。我妻先生は当時の新聞のインタビューに「命令に従わなかったのは遺憾だったが、見つかった瞬間は、なにか責任を果たしたような感じがしました。」と発見時の心境を語っています。友情と平和の印を守り抜いた313人の一人が三本木にいたことを誇りに思います。

今、ロシアのウクライナ侵略戦争によって、多くの人々が命を落とし、家を失い、生活と希望をなくしています。そして世界中が「ロシアの暴挙許すまじ。」と怒りの声を上げています。しかし、こんなときだからこそ、友情の人形を贈ってくれた260万人のアメリカ人や我妻先生をはじめとした313人のことを忘れてはならないと思うのです。ロシアにも友情を信じ、平和を願う人々がいるのですから。ベティ・ジェーンのグリーンアイズに見つめられながら、改めて国際親善と平和について考えさせられた歴史探索でした。

なお、三本木小学校の青い目の人形物語には続きがあります。本校ホームページには、関連資料も掲載していますので、今に続くベティ・ジェーンの物語をどうぞご一読ください。（文責 高橋）

【参考資料等】

- 河北新報記事（昭和61年9月14日）
- 大崎タイムズ記事（昭和61年9月18日）
- マイタウンふるかわ記事（平成2年7月30日）
- 日本赤十字社愛媛支部ホームページ
- 「お帰りなさい『ミス宮城』 — 2003年里帰りの記 — （2003.12.5）みやぎ「青い目の人形」を調査する会・齋藤俊子」

～パネルディスカッション「三本木小学校の思いで」を開催～

6月1日、開校150年を迎えた三本木小学校で、記念のパネルディスカッションが開催されました。

パネラーは各年代を代表する6名の卒業生が務め、体育館に集まった6年生児童とオンライン参加の1年生から5年生の児童を前に、自分が小学生だったころの思い出を話すというかたちで進められました。

80才代の手代木亮一さんが通っていたのは戦後間もないころで、木造校舎でした。学校の周りにはまだ防空壕が残っていたということです。その当時の用務員さんは家族と一緒に学校に住みこみで仕事をしていたそうです。70才代の富澤謙一さんの思い出は学校行事としてのイナゴ取り。全校児童でイナゴを取って売り、ひな人形やテレビなど学校の備品を購入したそうです。

60才代の小坂さんは小学2年生まで坂本分校に通っていましたが、分校の近くの児童は、3年生まで坂本分校に通い、4年生から本校に行くことになっていたそうです。小坂さんは2年生の時に分校が廃校になったので3年生から本校に通うようになったということでした。坂本分校は木造のとても古い校舎で校庭も本校の5分の1くらいだったそうです。

50才代の佐々木賢司さんは小学校時代、三本木ファイターズで野球をしていました。校庭で毎日野球の練習を一生懸命やり、全国大会にも出場したそうです。自分の好きなこと・やりたいことは何でも全力で一生懸命やるのが大事で、それは将来必ず自分の役に立つということを語ってくれました。40才代代表の尾出恵一さんは小学校4年生のとき高倉小学校から転校してきたそうです。三本木小学校は高倉小学校に比べて大きく、児童も多くて驚いたそうです。5年生の時に今の西校舎の建設工事が始まり、その間プレハブ校舎で過ごしましたが、6年生のときに完成した西校舎を初めて使う学年になったとのことでした。

30才代の本宮孝太郎さんは5年生の時に自由研究で志田郡代表に選ばれ、発表会では緊張しましたが、担任の先生の一言で自信をもって発表できたという思い出を語ってくれました。また、パネルディスカッションの終了後、ちょうどその日に勤務なさっていた、その先生に会い、挨拶できたことにも感激していました。

そのほかに、昔は田植え休みや稲刈り休みなど農繁期には学校が休みになり、家の仕事を手伝っていたことや給食がないころは弁当を持参し、コークスが燃料のダルマストーブで温めて食べていたというお話もありました。給食の思い出では、脱脂粉乳が牛乳の代わりだったこと、給食がコッペパンだった時代は、欠席した友達にパンと牛乳を届ける係がいて、届けるとお菓子をもらえるのでみんながその係をやりたがったという話もありました。

児童からは、「食べ物が少なかった時代に比べると自分たちは恵まれている。」「イナゴ取りの話が印象的だった。」などの感想が聞かれ、会場の6年生の中には、「恵まれた環境に感謝して残りの学校生活を悔いなく送りたい。」と、力強い感想を話している児童もいました。

なお、学校ホームページには、7月上旬頃までに、パネルディスカッション全体の記録を掲載する予定です。誌面では伝えきれなかった興味深い話題が盛りだくさんですので、ぜひご一読ください。



俳句

孕みたる寒立馬なり尻屋崎

二本柳 力 彌

缶蹴りの植田の空へ響きけり

鈴木 勝 也

おひたしや香り楽しむシンドケかな

阿部 和 子

宅配のピザ届けらる田植えかな

阿部 話 架

校舎より鼓笛の響き五月かな

佐藤 邦 子

短歌

父の日待ち遠しかり白バラの

蕾のかたき庭先めぐる

伊藤 ふみ子

五月空気温の変化はげしくて

移植の野菜根付きが遅い

佐々木 和 子

三峯の祠の丘に春きたる

チゴユリが咲くギンランが咲く

手代木 亮 一

白鷺は水田鏡に身を映し

小首傾げてゆっくり歩む

阿部 郁 子

猫のレミ毎日アオが追いかける

嫌な奴だとさっさと逃げる

鈴木 真 子



7月10日は参議院選挙の投票日です

7月10日(日)は参議院議員選挙の投票日です。当日、仕事やお出かけで投票所へ行けない方は、期日前投票しましょう。

【期日前投票】

日時 6月23日(木)

～7月9日(土)

8:30～20:00

場所 三本木総合支所1階 第1会議室

※Fプラザ・パレットおおさき・各総合支所でも期日前投票できます。



ふわふわドームにひさがつきました!

利用者の方々から、「真夏の炎天下で日陰がほしい」という声を受け、三本木企業協議会よりふわふわドーム用のひさを3基ご寄付いただき、設置しました。

三本木企業協議会の皆様、ありがとうございました。



確認! 火災を防ぐために

今年1月から6月までの間、三本木では普通建物火災が4件発生しています。

できることから防火対策をして、火災時は人命を守るため被害を抑える行動をしましょう。

【4つの習慣(しない・させない)】

- ①寝たばこの禁止
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③コンロを使う時は火のそばを離れない
- ④コンセントはほこり清掃・不必要なプラグを抜く



【6つの対策(できることから)】

- ①安全装置の付いた機器を使用する
- ②住宅用火災警報器を設置・点検する
- ③部屋の片づけ・防火用カーテン等を使用する
- ④消火器等を設置し、使い方を確認する
- ⑤避難経路と方法を常に確保して備える
- ⑥普段の声かけなど地域ぐるみの防火対策を行う



お問合せ 地域振興課 ☎52-2111
古川消防署三本木出張所 ☎52-2510

行政相談・人権相談のおしらせ



【行政相談】毎月第1水曜日

7月 6日(水) 9時～12時

【人権相談】毎月第3月曜日

7月 19日(火) 9時～12時

◆相談料 無 料 ◆会場 総合支所相談室

お問合せ 地域振興課 ☎52-2111

移動図書館「きらり号」巡回日程

7月1日(金) / 7月15日(金)

13:40～14:25 三本木支所駐車場

14:50～15:40 南谷地集会所

※悪天候などより中止・変更する場合があります。

お問合せ 大崎市図書館 ☎22-0002

休日・夜間診療案内

休日や夜間に受診可能な休日当番医・歯科医及び夜間急患センター等の情報はこちらから確認ください。

◆電話：宮城県休日当番医情報(大崎医療圏) ☎0229-24-2267(音声案内)

◆携帯電話・スマートフォン：大崎市ホームページ(右のQRコードからアクセスできます。)



三本木地域のミニ統計

令和4年6月1日現在

人口 7,539人(+4)

男 3,783人

女 3,756人

世帯数 2,755戸(±0)

()は前月との比較

ごみ収集カレンダー

(種 別)	(回収日)	
もやせるゴミ	毎週(月・木)	左記の回収日が祝祭日でも回収します。
もやせないゴミ・資源物(リサイクル)	第1・第3(火)	
プラスチック製容器包装	第1・第3(火) ※新町、南新町区は月4回(第1～第4)	

三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24-3

三本木総合支所地域振興課内 ☎: 0229-52-2111 FAX: 0229-52-5840

「さんぼんぎねっと」は毎月月初めに発行